

きふね

大田区立大森第一小学校 同窓会機関誌

平成31年4月1日 第5号

「素晴らしい後輩達」

会長 萩原 俊紹

同窓会発会以来、手探りの状態の中で、少しずつ歩みを続けておりますが、世代を超えた人間関係の構築は遅々として捗りませんが、小学校との係わりの中で、得るものが少なからずありました。

昨年十一月、学校公開の折、内田校長先生の「いのち」の授業を聴きに行った時のことですが、「自分達の存在には親が居り、更にその上には祖父母が居り、命は連続として継続しているんですよ」とのお話でしたが、途中、先生より生徒に「命って何だろうね」という質問が出されました。

大人ならば先ず何と答えようかと考えますが、多くの子供達が我先にとすぐに手を挙げたのには驚かされました。最初に答えたのが五年生の女の子で、「命とは美しくて儂いものだと思います」と言われまし

た。授業を参観していた親御さん達は感嘆の声を上げて居られました。私もこんなにも感性豊かな子がいるんだと感激もし、頼もしくも思いました。と同時に、同窓会活動を通じてこの子達の成長を見守り、お手伝いが出来たらと、改めて思いを新たにしました。このような場に出会えたのも本会の活動のお陰と有難く思っています。

今後も、本誌を通じ、素晴らしいものがお伝えできればと考えて居ります。



地域と歩んだ百四十四年

第三十四代 校長 内田 聡司

同窓会機関誌「きふね」第四号の発行、まことにおめでとうございませう。本年度も再任用フルタイムの校長として、愛すべき大森第一小学校

に勤務を命ぜられたことを嬉しく感じています。これも、ひとえに地域、町会・自治会長様方のご支援の賜と心より感謝申し上げます、

平成二十六年二月二十六日の発会式から四年、同窓会の行事も着実に実績を積み上げ、子ども達の笑顔が溢れる活動が印象的です。

同窓会発足の折、萩原俊紹会長様から「世代を超えた人間関係の構築」という主旨のお話しを伺い、百四十四周年から百五十、さらには二百周年を超えてまで続いていく本会の未来図を思い描いたことが今でも鮮明に思い出されます。大田区で最も歴史を重ねた小学校を多くの卒業生の皆様で見守ってくださいる事に心より感謝申し上げます。

本年度もまた、金管バンド部が地域で様々な活動をさせて頂く予定です。地域の皆様の本校への熱い思い（「金管楽器の寄贈」）にお応え出来るよう、これからも教職員一丸となって四百九十五名の子ども達のために力を注いでまいります。

平成三十年度 主な行事

- 四月一日 同窓会誌発行
- 四月十四日 同窓会役員会
- 四月二十八日 総会案内状発送
- 六月十六日 同窓会総会
- 十月十三日 同窓会役員会
- 十月十八日 長海苔巻き作り
- 十二月八日 同窓会役員会
- 二月九日 同窓会役員会
- 三月三十一日 機関誌五号完成

平成三十一年度 主な行事

※総会

六月二十二日(土) 十一時半より

内容 ・入会式・金管バンド

・余興・昼食 等

会費 千円 (中、高生五百円)

懇親会 (二十歳以上) 会費五千元

※長海苔巻き作り

十二月八日(日) 十時より

会費 五百円(小学生は無料)

おやじの会共催

詳細は後日案内葉書をお送りします。ご家族での参加を歓迎します。

平成三十年度

同窓会入会式及び定期総会

期日：平成三十年六月十六日(土)

十一時 定期総会
十一時半 入会式

○入会式次第

1. 会長挨拶
2. 新加入代表の言葉
萩原会長の挨拶に続き、新加入者である、平成三十年卒業生の代表の言葉がありました。新同窓生として立派で力強い言葉に同窓会の思いが受け継がれる期待を強くすることができました。

○定期総会次第

- ・閉会の言葉
- 1. 会長挨拶
- 2. 学校長挨拶
- 3. 議長選出
- 4. 議事
- ① 事業報告
- ② 会計報告
- ③ 事業計画
- ④ 予算案
- 5. 事務連絡
- 6. 余興
- ① 金管バンド演奏

② 交流タイム

③ ビンゴゲーム

・閉会の言葉

会長、学校長の挨拶の後、学校長である内田様を議長に選出し、議事が進みました。その結果、事業報告、会計報告、事業計画、予算案が賛成多数で了承されました。

いよいよお待ちかねの余興です。金管バンドの演奏。多少緊張を感じられましたが、新しいメンバーとなり短い練習期間とは思えない音色を出し、観客の皆様へ感動を与えることができました。その後は獅子舞、ビンゴ大会と大いに盛り上がり、平成三十年定期総会は無事に終了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



指揮 柴田先生



卒業生が先輩方を拍手でお送りしました。



萩原さんより見守り隊ベストの紹介

平成三十一年度同窓会の組織

◎相談役

伊東 祐孝(大森中八幡自治会会長)

大塚 政利(大森山谷自治会会長)

志田 和陽(大森町自治会会長)

横山 勝利(大森東貴船自治会会長)

◎会長

萩原 俊紹(貴船神社宮司)

(本校第十七・十九代PTA会長)

(本校地域教育連絡協議会座長)

(本校PTA顧問代表)

(本校見守り隊代表)

(金管バンド名誉会長)

◎副会長

磯邊 隆【企画・懇親的活動】

(本校第二十一・二十三代PTA会長)

(本校見守り隊)

橋本 真一【総務・文化的活動】

田中 貴一郎

美濃部 圭史

【総務・ボランティア活動】

◎総務

美濃部 等、金子 明彦

伊藤 晋一郎

◎会計

丸山 晶子、福本 佳子

◎企画

須山 智徳、中村 良子

萩原 悠子、茨田 桂太

木内 直美

◎監査

鳴嶋 清恵、須山 喜史

◎学校

名誉会長 内田 聡司(現校長)

特別常任幹事(現副校長)小林 和弥

特別幹事(現教員)山崎 創

平成三十年度主な行事

長海苔巻き作り(同窓会イベント)



須山前PTA会長の説明

定期演奏会



長海苔巻き完成!



学芸会



昭和27年卒業の皆さん
いよいよ80歳ですよ！

私が小学校へ入学したのは、昭和21年4月、終戦の翌年でした。前年4月の空襲で、大森第一小学校は焼けてしまいました。そのため、入学先は、焼失を免れた大森第四、又は第五小学校になりました。私は第四小学校へ入学しました。

入学記念写真が手元に一枚残っています。改めてながめてみました。裏のメモは1年2組でした。生徒数は51名、全員男児（2学年から男女共学）、頭は坊主刈り（自宅でのバリカン刈り、長髪は坊ちゃん刈りと称した）、上着は長袖、ズボン半か長、足元は下駄か草履。担任の吉沼先生は普通着で、校長先生のスーツは借り着かな？。戦後の物資不足の様子を物語っています。

大森第一小学校は、昭和22年6月2日に、木造校舎が再建されました。私は26年4月、6年生から大一小に転校してきました。そして、

翌27年3月に卒業しました。卒業証書と6年2組の集合写真（モノクロ）一枚を頂きました。

終戦後最初の小学生が過ごした小学校6年間は、食糧・物資が不足した厳しい時期でした。しかし、いま思い出されるは、学年をオーバーラップして近所の仲間達と、それぞれ色々な遊びに夢中になっていた事ばかりです。学校へいくもの、とても楽しみでした。不思議ですよ、実は、家族と先生と近所のおかげでしょう。これからもそうでしょう。

私達は卒業後、一度も同級会はやっていません。同期会もです。昭和二十七卒業の皆さん、是非とも大森第一小学校同窓会でお会いしましょう。

平成31年3月 伊東 祐孝



編集後記

同窓会機関誌「きふね」第四号
を提供いたします。

今回は昭和三十一年度卒業の
方々の貴重な資料を最終ページに
掲載させて頂き、構成しました。
皆様からの原稿もお待ちしております。

事務局

大田区立大森第一小学校

大田区大森東三―一―一八

〇三(三七六一)六五二八